



和敬会だより

第156号

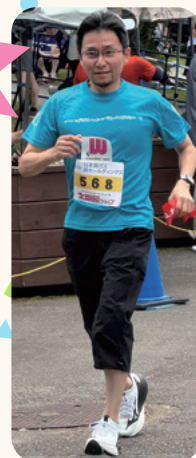
発行所
医療法人社団 和敬会
谷野呉山病院
富山市北代5200
<https://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和8年9月7日

いっちゃん！リレーマラソン2026に
参加しました！



医療法人社団和敬会

基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して 私たちはあなたと共にある」

基本方針

- ・専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
 - ・常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
 - ・広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
 - ・精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
 - ・環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
 - ・精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
 - ・人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

谷野呉山病院 Web サイト

和敬会だよりの
過去号も掲載し
ています。



谷野医院 web サイト

リニューアル
しました！
ご覧ください。



「妄想」のすゝめ

理事長・院長 谷野 亮一郎

私が15年以上前に読んで以来、今でも精神療法の道しるべにしている本があります。家族療法(システムズアプローチ)がご専門の東豊先生の『セラピスト誕生 面接上手になる方法』です。

その本の中に、こんな一節があります。

「とにかく面接がおもしろくなるコツはね、最初の1分2分で、妄想たくましくして、あたかもそのケースのことが見通せたかのような仮説をもつことですよ。50分間お話を聞いてやっと何か見えてきた、あとで面接テープを聞きなおしてやっと何かの仮説ができた、ではなくて、最初から「スカーンと見えてくるようなもの」っていうのがね、あるんです。必ずあります。1分、2分、3分、5分で、いくつも妄想がわく。そもそも、そういったものが出てこないと引き続く質問の組み立てもできないでしょ？そういう面接って、つらいよね。もちろん初期の妄想に縛られたらいいませんが、じゃんじゃん妄想をたくましくしてください。」



患者さんを診察しながら、その人が今に至るまでのストーリーに思いを馳せる。正否はいったん横に置き、「ひょっとして、こういうこと？」と骨格をつくる。話を聞きながら肉付けし、ときにはスクラップ&ビルドする。

この一節を初めて読んだ時、自分が診察室でやっていたことが「妄想」と言語化されていて、なんだかうれしくてニヤニヤしました。ちなみに精神医学用語としての「妄想」をザックリ言えば、「訂正できない誤った考え」。まあ、それも横に置いておきましょう。

さて、ここから私の得意な(笑)脱線です。

私の「妄想力」を鍛えるのに一役買っているのが落語です。落語を聴いていると、演者が目の前にひとりいるだけなのに、いつの間にか脳内、いや、目の前にまで情景が広がります。ベタですが、『芝浜』『文七元結』なんかは、映画一本観たような心持ちになります。もっと荒唐無稽な世界に浸りたいならば、『二階ぞめき』『あたま山』『そば清』なんていかがでしょう。『二階ぞめき』では、吉原好きが高じた若旦那、とうとう自宅の二階に吉原を再現してしまいます。

二階に吉原の遊里をつくって、そこを「ぞめいて歩く」ほどの妄想力はなくても、患者さんを理解するための妄想は、じゃんじゃんたくましくしたい。ただし、間違っていたら、さっさと訂正する。精神科医としては、ここが肝心です(笑)。

業務効率化・電子化について

人事課では令和6年より人事労務に関するデータの一元化をすすめており、給与明細、職員サーベイ、年末調整、有休申請を紙ベースから電子化しました。慣れない運用にもかかわらず、スタッフのみなさんの理解と積極的な協力が電子化への大きな推進力になりました。

また、6月26日からは勤怠システムも新しく導入し運用を始めています。導入前は人事課でしかタイムカードの打刻データ等が確認できませんでしたが、新システム導入後は所属長もオンタイムで確認できるようになりました。打刻忘れ等もシステムが教えてくれます。データを一元化することにより様々な試みが可能となります。今後も利便性を高めるため電子化をすすめていきたいと考えています。



谷野医院 依存症治療のこころみ

2026年2月から谷野医院で、性嗜好障害（窃視症など）のグループミーティングを始めました。月1回、主に第4土曜日の13時～14時に行っています。最初は2名のみの参加でしたが、最近では5、6名参加してくださるようになりました。「窃視症」という言葉はあまり馴染みがないと思います。特徴は、生活上の苦痛や社会的・職業的支障があっても盗撮を繰り返してしまうもので、行動嗜癖として捉えることができます。ミーティングでは、ギャンブル依存症の認知行動療法テキストを参考に、性依存症として作り替えて用いています。



この試みが思いのほか有意義！参加者からも好評！であることに驚いています。県内にアルコールや薬物、ギャンブル依存症の自助グループ（断酒会・AA・ダルク・GAなど）がありますが、その他の依存症、例えばゲーム、買い物や窃盗、性嗜好障害などはありません。その点で当事者ミーティングはとても貴重なものです。

依存症に共通したテーマは「生きづらさ」と「人に頼れない（一人でその依存行動で乗り切ろうとする）」という点だと思います。一方で、このテーマは依存症患者さんだけにみられるものでしょうか？ 治療を担当する私自身にもあてはまるどころがあり、また、こうした治療に関わらせていただくことで、気づくことが沢山あります。

もし関心があれば、できる範囲で、できるところから関わってみませんか？ 谷野医院 医師 古市厚志



出前講座「消費者トラブルに遭わないために」を開催

生活支援センターとデイケアのぞみの合同企画として、今年も富山市役所の出前講座を利用して「消費者トラブルに遭わないために」と題した講座を5月29日に開催いたしました。

講師には富山市消費生活センターの職員が来てくださり、実際の詐欺電話の音声ガイダンスや資料映像を使って、最近の電話やメールを利用した詐欺の手口、通信販売トラブルなどの特徴と、対処方法についてお話をいただきました。

今年は53名が参加され、多くの参加者から「分かりやすかった」との感想が寄せられました。また「対処法がわかってためになった」「相談することが大事だと思った」とのご意見がありました。

参加者へのアンケートでは、自転車の交通ルールや介護保険について関心があるとのこと意見がありました。いただいたご意見を参考に、地域で安心して暮らせるような情報提供をおこなっていきたいと思います。また、地域の方と障がい者の交流が図れるようなイベントを企画・開催していきたいと思います。



ござん会定例会の 開催日時が変わりました！

第1土曜日
11時～

病院家族会として「ござん会」が発足して以来、定例会を毎月第3日曜日に開催してきましたが今年度から毎月第1土曜日になりました。

ご家族が参加しやすいようにと日曜日開催を続けてきましたが、発足当初と比べ社会の変化が大きいため、アンケートを実施し、良い点や改善が必要な点、定例会で取り上げてほしいテーマや開催日に関するご意見を伺いました。

いただいたご意見を基に定例会開催を土曜日へ変更したほか、ご希望が多かった事業所見学を10月に行う予定としました。

今年度のテーマ『絆を広げ、手を取り合おう～社会資源をもっと知り、活用しよう～』に沿い、ご家族が元気になれるよう活動していきます。多数のご参加をお待ちしています！

【令和8年度ござん会定例会 今後の開催予定】

会 場：谷野呉山病院やすらぎホール
開 始 時 刻：午前11時（家族教室終了後）

開催日	内 容
10月3日	ござんフェスティバル
10月17日	事業所見学会
11月7日	講演会『ピアフレンズ』
12月5日	みんなねっと全国大会
1月	新年会（調整中）
2月6日	講演会 『成年後見制度など社会資源について』
3月6日	家族による家族のための相談会

いっちゃん！リレーマラソン 2026に参加しました

6月7日に太閤山ランドで開催された「いっちゃん！リレーマラソン 2026」のハーフマラソン部門に今年も参加しました。今年は天気にも恵まれて、汗いっぱい、力いっぱい、そして笑いあり、涙ありで、みんなで襷（たすき）を繋いで走ってきました。

今回は総勢30名の3チームと、これまでで一番多い参加者数となりました。参加者の所属も谷野呉山病院、谷野医院、脳と心の総合健康センターの各施設からとなり、部署も多岐にわたっています。また看護部は全病棟から参加し、年々参加者の輪が広がっています。来年は全部署から参加していただけると嬉しいです。

そしていつの日か、ランニング同好会の行事から和敬会の正式行事に昇格できるよう願っています。

ランニング同好会「G-RUNNING」



ワケちゃんも
応援！



襷をつないで
無事完走しました！

法 人 の 動 き

月	日	事 項
5	12・29	春季職員健診
5	29	出前講座 「詐欺被害に遭わないための心構え」
6	10	職員総会
6	24	法人理事会
7	13～18	患者満足度調査
7	16	医療安全相互ラウンド

紙面に紹介されている患者さんの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

編集後記

この夏は降雨の偏在が深刻です。毎時100ミリ超の豪雨で人命が奪われる一方、多数のダムが渇水で湖底の遺構が露わに。雪解け水が豊富な富山県でも庄川水系は取水制限。個々には昔からあるが年々極端になってると感じます。（志）